

千葉都市モノレール株式会社 第35期（平成24年度）決算の概要

平成25年6月19日
千葉都市モノレール株式会社

営業の概況

当期（平成24年度）は、東日本大震災からつづいておりました利用客の減少傾向もほぼ回復し、当初から前期を上回る成績で推移してまいりました。

しかしながら、当期も長引く景気低迷と依然として続く沿線の少子高齢化の影響は否めず、当初計画よりも伸び悩み、大変厳しい経営を余儀なくされました。

このような状況を打開すべく、当期も「地域に根ざしたモノレール」を目指し、「つなぐ・めぐる・つどう」をキーワードに、地域活動への積極的な参加や沿線施設とのタイアップなど地域と一体となった事業を実施するとともに、「2012年グッドデザイン賞」を受賞したアーバンフライヤーを活用したイベント等積極的な営業活動を展開してまいりました。

また、パーク&ライドの拡充、千葉駅売店のリニューアルや各種記念切符の発売等更なる増収策にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当期の最終的な営業成績といたしましては、ほぼ計画どおりの成績を確保することができ、震災前の水準まで回復することができました。

安全対策面では、毎年9月に行っている防災訓練に加え、3.11地震災害対策訓練を実施し、社員個々の災害に対する意識の向上に努めました。

設備及び保全面では、A T C / T D（列車の保安装置）の地上装置や電車線（架線）の更新工事など、設備更新計画に基づき着実に実施してまいりました。

営業実績（概要）

当期の輸送人員全体といたしましては、対前期比3.97%増の1,644万人となりました。

定期外輸送人員は、スポーツセンターでの各種競技大会が予定どおり実施されたことに加え、8月には全国中学校陸上選手権が開催されたほか、冬期の降雪等も功を奏し、4.34%の増加となりました。

定期輸送人員につきましては、通学定期は0.84%の微増でしたが、通勤定期は4.15%増と順調に推移した結果、定期輸送人員全体としましては、3.58%の増加となりました。

一方、運輸収入につきましては、全体では対前期比4.22%増の30億874万円となり、うち定期外収入は、4.49%の増加となりました。

定期収入につきましては、通学定期は1.13%の微増でしたが、通勤定期が4.26%増加したことから、定期収入全体としては3.78%の増加となりました。

<お問い合わせ先>

千葉都市モノレール株式会社

電話 043-287-8216

(参考)

輸送人員・運輸収入

	当 期	前 期	増 減	対前期比
輸送人員	(千人)	(千人)	(千人)	(%)
定期外	8,399	8,049	349	104.34
定期	8,048	7,770	277	103.58
合計	16,447	15,820	627	103.97
運輸収入	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)
定期外	1,874	1,793	80	104.49
定期	1,134	1,092	41	103.78
合計	3,008	2,886	121	104.22
営業費	2,736	2,583	152	105.90

(単位未満の端数切捨)

【平成24年度の主な取り組み】

アーバンフライヤーの営業運転開始

地域との連携

(ちば恋フェスタ2012 ZOO婚inちば など)

駅の活用

(モノSta.らいぶ 千葉駅健康階段)

パーク&ライドの拡充

・千城台駅前駐車場において、モノレール利用者限定駐車料金優待サービスの実施

千葉駅売店のリニューアル(「NEW DAYS」としてリニューアルオープン)

各種記念切符の販売

・アーバンフライヤー営業運転開始記念入場券 乗車券セットの販売

・俺の妹がこんなに可愛いわけがない。記念切符の発売

・開業25周年記念乗車券セットの販売

開業25周年記念事業のスタート(平成25年3月28日～平成25年度末まで)

オストメイトやベビーチェアを備えた多機能トイレの設置(都賀駅)

9月1日災害対策訓練及び3月11日地震災害対策訓練の実施